

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員		
支援の内容および効果等	協議会の取組 (イメージ)	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	5	
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	4	
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	4	
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	5	
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	4	
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	4	
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	5	
	策（取組）	今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	5

主な意見等

・自立度の低い地域への重点的な支援が求められる。自立度の高い知己は人ではなくシステムで回る工夫を。

- ・自律度に応じて徐々に手を放していく支援のあり方の検討を
- ・自律後を見通した、新たなステージでの中間支援組織の役割の検討を
- ・意欲的な事業の開拓を支援されており、さらなる開拓に期待
- ・受託団体が、行政とも密に連絡調整を図りながら、安定的で充実した支援を行っていることがうかがえる。

・マトリックスでの分析から、各地活協ごとに細やかな支援がなされていることが分かる。今後できれば全体の検証と分析を行い、①すべての地域に共通した支援メニュー、②地域特性によ

って強弱・濃淡をつけた支援メニューなどメリハリのあるサポートを試みつつ、さらなる自律支援に期待する。

・報告書が非常に見やすく作成されていることを評価したい。報告書を含め書類作成は、書き手が独善的にならず、さまざまな読み手を想像しつつ創りあげる作業だろう。報告書は、その「配慮の表れ」でもあり、「まちづくり」に携わる中間支援者の姿勢と相通じると考える。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。